

<課題名>

宝物の地図を作ろう

<取り組む時期>

中学校1年生 図形の移動、基本の作図を学習した後 ※本校では、夏休みの課題としました。

<この教材の狙い>

- ①曖昧な知識や技能を自ら見つけ、自ら学習内容を振り返り習得する。
- ②他者が取り組むことを意識した課題を作ることができるようになる。
- ③内容の誤りや不備を見つけ修正し、適切に指摘することができるようになる。
- ④「誤り」に対する抵抗感を和らげ、他者の指摘を素直に受け止めることができるようになる。

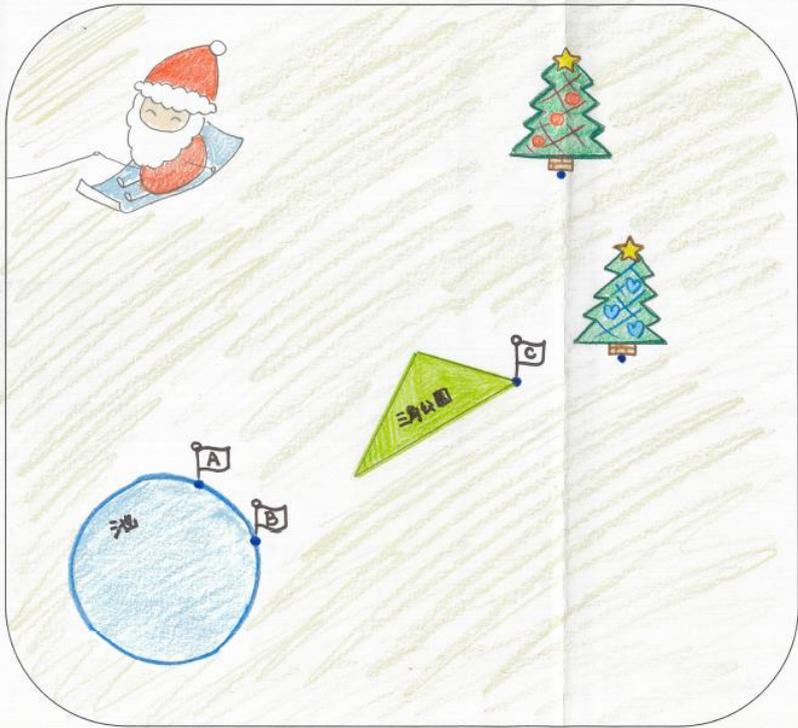
<学習の流れ>

1 これまで学習したことを利用して、用意された地図から宝物を見つける。

(生徒に配布した地図)

1年 組 番 名前

宝物はどこにあるかな? 「サンタクロースからのプレゼントはどこにあるかな?」



<宝物の場所の説明>

- ①1つ目の雪だるまは、円の中心にある。
- ②①で見つけた池の中心をPとすると、2つ目の雪だるまは半径線PAと半径線PBから等しい距離にあり、2つのクリスマスツリーから等しい距離にある。
- ③直線PBを対称の軸として、三角公園を対称移動した図形で、旗Cの位置に対応するところに3つ目の雪だるまがある。
- ④3つの雪だるまから等しい距離にあるところは、サンタクロースからのプレゼントがあるよ。

サンタクロースのプレゼントの位置を
作図によって探してみよう。

◆指導のポイント①

宝物の場所の説明の中には、これまでに学んだいろいろな内容が書かれているね。「何だっけ?」と思った内容があれば、教科書やノートを見直して復習をしながら、宝物探しをしよう。

2 宝物を探す地図を作る。

◆指導ポイント①

最終的に作成するのは、作図線が書かれていない地図であるため、作図の方法やかき込まれる作図線を意識しながら、地図を作ろう。また、曖昧な作図については、適宜確認をしよう。

◆指導ポイント②

宝物の地図であることから、問題集にあるような無機質な作図問題ではなく、具体的な場面を考え、その場面にふさわしいものを適切な場所に配置して地図を作ろう。

(自分の「好き」を意識すると、場面を決めやすいよ。)

◆指導ポイント③

宝物の地図は交換して宝物を探しあうので、分かりやすく丁寧な地図を作ろう。

3 宝の地図をクラス内でランダムに交換をし、これまでに学習したことを利用して宝物を見つける。

◆指導ポイント①

他者の地図を観察することによって、自分にはなかった発想を見つけよう。

◆指導ポイント②

地図によっては、条件が足りていなかったり、説明不足であったりして、宝物がうまく見つけられないものも出てくるかもしれません。その場合は、「間違っています！」ではなく、地図を受け取った人が条件をつけ足したり、説明を加えたりして、宝物を見つけることができるように修正をしよう。

4 地図の作成者にメッセージを書く。

◆指導ポイント①

面白いと感じたところ、すごいと感じたアイデアなど、受け取った地図の良かったところについて「ほめほめメッセージ」を書こう。地図に足りていない条件や説明があって、地図やその説明を修正した場合には、そのことを分かりやすく伝えよう。

◆指導ポイント②

メッセージを伝える相手が校長先生だったとしても失礼のない、丁寧な言葉遣い、丁寧な文字を心掛けよう。

5 地図の作成者に、地図を返す。

◆指導ポイント①

戻ってきたメッセージを読んで、自分が作成した地図を振り返ろう。指摘を受けて、自分の地図を修正したり、他の人の地図から見つけた良いアイデアを参考にして、より良い地図を作ったりしてみよう。

宝物はどこにあるかな? 「

」

A large, empty rounded rectangular area with a thin black border, intended for drawing or writing.

<宝物の場所の説明>

A rectangular area with a thin black border, intended for writing the location description.